

「WBC選ばれる選手に」

ゴルフで英気 充実の宮崎キャンプ

【宮崎】江陵高からドラフト2位でプロ野球・福岡ソフトバンクホークスに入団した古谷優人投手（17）が1日から、宮崎市内の生目の杜運動公園で初のキャンプに参加している。休養日の6日には、同期の大型ルーキー・田中正義投手ら新人3人とゴルフを体験。高校時代に授業で経験しただけに古谷投手は、他の選手が池ポチャで苦しむのを横目に快音を響かせた。キャンプインして1週間近くたち、北のエースは南国の地でプロとしてどんな決意で臨んでいるのか聞いた。（安倍諒）

ゴルフ体験で好シヨット、快音を響かせる古谷投手（右、6日・宮崎市トム・ワトソンゴルフコースで）



「キャンプの1クールが
終わった感想は。」

「思っている以上に多くのファンに来ていただいて、「頑張つてね」と言われる。プロについているいろいろな人に応援されて野球ができていることを実感している。ファンに愛される選手になりたいので、ファンサービスはしっかり対応したい。」

「キャンプではどの先輩投手に付いているのか。」

「同じ部屋の笠合俊介投手に付いている。笠谷さんにはトレーニング方法など、いろいろなお話をしていたでいてる。「一人でどれくらい考えてやるか」「新人らしく元気にやっていくのがいい」とアドバイスをもらっている。」

「現在の練習内容は。いまは基礎的なことが中心。ランニングや体幹トレーニング、その後はキャッ

チボールをして個別練習という流れ。自分は体を動かして過ぎてしまつてところがあるので、トレーナーに制限されることが多い。けがは良くないので注意している。ブルペン（投球）は3クール目を予定している。

「課題と目標を。」

「一回りも二回りも体を大きくしてプロで通用する体をつくっていくことが課題。（ドラフト1位入団した田中投手については「右の田中、左の古谷」と言われるレベルまで田中選手に追いつければいいと思う。まずは結果を出すことが大事だが、千賀滉大投手のようにWBCに選ばれる選手になりたい。」

「自分は世のため人のために野球をやりたいと思つているので、障害を持つている方やいろいろな人々たちを招待し、自分のプレーで夢や希望を与えられるような投手になりたいと思つてい

初めのキャンプで体づくりに励む古谷優人投手（3日、宮崎市・生目の杜運動公園で）

